

# 令和3年度 予算施策評価表

様式1

施策名	男女共同参画社会づくり				予算施策コード	kk06	
担当部局名	県民環境部	県民生活局	男女参画・県民協働課	評価責任者	課長 新田 真理	連絡先	3465

## 1 施策の内容

施策の目標	男女が、互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現を図る。
これまでの取組み	男女共同参画社会基本法及び男女共同参画推進条例に基づき、第3次愛媛県男女共同参画計画に沿って、全庁的な推進を図っている。主要課題として「男女の人権尊重」「男女共同参画の視点に立った意識改革」「意思決定の場への女性の参画拡大」「家庭生活と仕事、地域活動が両立する環境整備」「雇用等における男女共同参画の推進」を掲げており、DV防止や性暴力被害者支援など女性への暴力根絶対策、男女共同参画に関する学習機会や情報の提供による意識啓発、審議会等への女性登用など県の姿勢の明確化、女性のチャレンジ支援や能力向上の機会提供、拠点施設である男女共同参画センターの設置、苦情処理制度や審議会等の運営等に取り組んでいる。 また、人口減少・少子高齢化社会において、女性の活躍推進は喫緊の課題であり、「えひめ女性活躍推進協議会」など多様な主体との連携により、経営陣や企業への意識啓発、女性メンターの育成、愛媛県版イクボス「ひめボス」の推進等に取り組むとともに、女性活躍の推進力ともなる男性の家事参画を推進している。

## 成果指標名(目標の達成度合いを示す指標)

A	審議会等委員の女性の割合				B	男女の地位が平等と感じる人の割合					
選択理由	施策目標の達成には、女性が意思決定に参画することが不可欠であるので県が率先して取り組む。				選択理由	「どちらかの性が非常に優遇されている」という両極端な意見が平等に集約していくことが、性別に関わりなく、その個性と能力を発揮することができる「男女共同参画の実現」につながるものと認識しており、成果指標とする。					
算定方法	女性委員の総数／審議会委員の総数				算定方法	世論調査(「平等になっている」「どちらかといえばどちらかの性が優遇されている」と感じる人の割合の合計)					
成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+	成果と指標の関係	強	指標の種類(ストック/フロー)	フロー	指標の種類(プラス/マイナス)	+

## 指標・事業費・人件費の推移

区分	成果指標A			成果指標B			事業費(予算)				事業費(決算)	人件費
	計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	予算計	国費	その他	県費		
単位	人			千円			千円					
元年度	45	41.0	91.1%	-	71.4	-	100,362	13,196	2,611	84,555		49,005
2年度	45	41.1	91.3%	-	71.4	-	103,382	14,943	12	88,427	99,499	54,130
3年度	45	40.6	90.2%	-	74.8	-	168,783	70,577	12	98,194	161,254	53,240
4年度 目標値	45			85			4年度当初予算					
最終目標	45			85								

## 2 施策の評価

県の関与の必要性		説明	男女共同参画社会基本法において、男女共同参画社会の形成促進等に関する施策の策定と実施が地方公共団体の責務とされるとともに、男女共同参画計画を定めることが県の義務とされている。また、県男女共同参画推進条例においても同様に定めており、関与の必要性和妥当性が高いことは既に社会的認知を受けているものと認められる。市町と協働して推進する必要がある。市町は推進体制の整備や各地域に応じた施策の推進が求められている。なお、平成28年4月から全面施行された女性活躍推進法においても、地方公共団体は必要な施策を策定・実施しなければならないとされている。			
高い						
成果指標A		説明	第3次愛媛県男女共同参画計画において課題と目標、施策を体系化しており、令和3年度～令和12年度の計画期間について、施策が総合的計画的に推進されるよう体制が確立されている。計画の進捗等については庁内の推進体制として設けられた愛媛県男女共同参画推進本部(訓令設置)、及び外部委員で組織する男女共同参画会議(条例設置)で毎年度の報告を行い、概ね順調との認識を得ている。			
成果動向	横這い					
成果向上余地	成果向上が可能					
成果指標B		説明	第3次男女共同参画計画の数値指標として、新たに設定した成果指標であり、極端な意見が中央(平等)に集約されていくことが、成果であると認識しており、男女共同参画に関する事業を継続して実施していくことで、5年度の成果指標の向上が期待できる。			
成果動向	順調・向上					
成果向上余地	成果向上が可能					
参考：構成事務事業の評価の平均値	成果動向	2.19	順調・向上	成果向上余地	1.38	成果向上が可能

今後予測される環境変化	男女共同参画社会基本法が平成11年に施行され、最重要課題として、社会のあらゆる分野において男女共同参画社会の形成の促進を図っていくことが法律で明確にされた。少子高齢化対策や社会経済の持続的な発展のためにも緊要な課題とされており、国では平成27年に女性活躍推進法が成立、令和2年に第5次男女共同参画基本計画が策定された。特に女性に対する暴力は男女共同参画社会の実現に向けて克服すべき課題であることから、国では、令和元年にDV防止法の一部改正を、令和2年に性犯罪・性暴力対策の強化の方針を策定し、県では、平成30年度にえひめ性暴力被害者支援センターひめこを開設するなど、被害者に寄り添ったきめ細かな支援を提供するワンストップ支援体制の充実を図るとともに、DVや性暴力の被害の防止や被害者の支援などに継続的に取り組むこととしている。 なお、国において、DV防止法の改正や、DVなど困難な問題を抱える女性への支援に関する新法の成立などの動きがあり、県においても国の動向を踏まえながら必要な対策に取り組んでいく。					
-------------	--	--	--	--	--	--

## 3 施策の今後の方向性

<p>事業は順調に進んでおり成果は着実に向上している。引き続き事業を継続し、第3次県計画の目標年度である令和12年度に向けて成果の維持向上を図ることが必要である。国の第5次男女共同参画社会基本計画では、女性の登用や意思決定過程への女性の参画の一層の加速、ジェンダー平等等SDGs達成のため男女共同参画や女性活躍について様々な主体と連携した取組みの推進、女性に対する暴力の予防・根絶などの必要性が指摘されている。県として、女性の登用促進と男女の人権の尊重、県民の正しい理解の促進と幅広い世論形成のための広報啓発をさらに積極的に推進することが適当と認められ、引き続き、県男女共同参画計画(女性活躍推進計画を含む)、DV防止基本計画に沿った総合的、計画的な施策の推進が不可欠である。</p>
--



4 男女共同参画社会づくり推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R12)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	45	45	45	45	事業費計	2,345	1,866	3,619	3,664	評価	3成果横ばい	向上余地	2一定の成果向上余地あり						
成果	+ 審議会等における女性委員の割合	%	実績	41	41.1	40.6	国費			851	1,638	登用率向上に向けては、意識改革の促進や慣例的な登用の見直し、女性人材リストや公募委員制度の活用などを働きかけ、全庁一丸となった取組を推進する。										
			達成率	91.11%	91.33%	90.22%	その他															
指標種類2	指標名称2	単位	計画	40	40	40	事業費計	2,345	1,866	2,768	2,026						見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続			
活動	+ 公募をした審議会等の数 (一括公募による)	数	実績	12	8	9	国費			160												
			達成率	30.00%	20.00%	22.50%	その他															
指標種類3	指標名称3	単位	計画	120	120	120	120	事業費計	2,205	1,220	1,735											
活動	+ 男女共同参画地域ミーティング出席者数	人	実績	91	95	100	国費															
			達成率	75.83%	79.17%	83.33%	その他															
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	1.5	1.5	1.5											
H14	予定・見込があれば記入		男女共同参画計画に基づき、全県域に県民大会の開催、地域における男女共同参画推進を支援するための行政・地域リーダー等のミーティング実施等、各段階に応じて、男女共同参画社会づくり及びジェンダー平等の推進を行う。					人件費	10,209	10,149	9,075											

5 DV防止対策推進事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	4その他						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	-	-	-	-	事業費計	4,559	1,819	1,995	2,009	評価	3成果横ばい	向上余地	4その他						
成果	- DV被害相談件数	回	実績	689	704	572	国費					DVの相談件数については相反する成果を示すため目標の設定が困難であり、今後も事業成果を向上させる効果的なDV防止啓発等に取り組むこととしている。										
			達成率	-	-	-	その他	2,600														
指標種類2	指標名称2	単位	計画	2	2	2	2	事業費計	1,959	1,819	1,995						2,009	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
成果	+ DV防止対策推進会議の開催回数	回	実績	1	1	1	国費			902	1,362											
			達成率	50.00%	50.00%	50.00%	その他	2,032														
指標種類3	指標名称3	単位	計画	4	4	4	1	事業費計	1,591	902	1,362											
成果	+ DV防止対策連絡会の開催回数	回	実績	4	4	2	国費															
			達成率	100.00%	100.00%	50.00%	その他	1,591														
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	1.6	1.6	1.6											
H14	予定・見込があれば記入		DV防止法及び愛媛県男女共同参画推進条例で、DV行為による被害を受けた者に対し、必要に応じた支援を行うと規定しており、その対策として本事業を実施している。また、若年層へのDV防止啓発の取り組みとして本事業を実施している。					人件費	10,890	10,826	9,680											

6 男女共同参画センター管理委託費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R?)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	-	-	-	-	事業費計	65,049	67,198	76,008	65,564	評価	3成果横ばい	向上余地	1成果向上余地が小さい						
成果	- 施設利用状況	人	実績	63905	33598	31568	国費					施設利用状況については、新型コロナウイルス感染症の影響によるものであり、現在の事業コストでできる最大限の管理運営が行われているものと評価している。										
			達成率	-	-	-	その他	11	12	12	12											
指標種類2	指標名称2	単位	計画	-	-	-	-	事業費計	65,038	67,186	75,996						65,552	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
成果	- 女性に関する様々な悩みについての相談件数	件	実績	2010	1705	2096	国費			75,563												
			達成率	-	-	-	その他	11	12	12												
指標種類3	指標名称3	単位	計画	605	605	605	605	事業費計	65,007	67,156	75,551											
活動	+ 年間受講人数	人	実績	694	531	467	国費															
			達成率	114.71%	87.77%	77.19%	その他	65,007	67,156	75,551												
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	0.4	0.4	0.4											
S62	予定・見込があれば記入		男女共同参画センターの管理運営に要する経費である。					人件費	2,723	2,707	2,420											

7 男女共同参画会議等運営事業費		指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R12)	コスト (単位: 千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果動向	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい						
指標種類1	指標名称1	単位	計画	-	-	85	85	事業費計	894	1,394	962	962	評価	4成果順調である	向上余地	1成果向上余地が小さい						
成果	+ 男女の地位が平等と感じる人の割合	%	実績	71.4	71.4	74.8	国費					世論調査結果であるが、今後も男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進していくこととしている。										
			達成率	-	-	88.00%	その他															
指標種類2	指標名称2	単位	計画	5	5	5	5	事業費計	894	1,394	962						962	見直し方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続		
活動	+ 苦情処理機関に対する申出・処理件数	件	実績	0	0	0	国費			545	142											
			達成率	0.00%	0.00%	0.00%	その他															
指標種類3	指標名称3	単位	計画	1	1	1	1	事業費計	493	545	142											
活動	+ 市町男女共同参画担当課長会議の開催回数	回	実績	1	1	1	国費															
			達成率	100.00%	100.00%	100.00%	その他	493	545	142												
実施期間	始期	終期	事業の概要					人役	1.4	1.4	1.4											
H13	予定・見込があれば記入		男女共同参画社会の実現を目的として「愛媛県男女共同参画推進条例」の円滑な運営を図るため、男女共同参画推進委員及び男女共同参画会議(審議会)を運営する。また、県と市町の連携を強化等のため、市町男女共同参画担当課長会議を開催する。					人件費	9,529	9,473	8,470											

8 新型コロナウイルス感染症対応女性相談支援強化事業費				指標動向	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	最終目標 (R4)	コスト (単位：千円)	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	成果 動向	4成果順調である	向上 余地	1成果向上余地が小 さい				
指標種類1	指標名称1			単位	計画	-	-	-	-	予算	事業費計	0	0	10,690	10,788	評価	民間団体ならではの気軽な相談機会の創出や機動力を生かした出張相談により、新たな相談の掘り起こしにもつながっている。					
成果	70-	女性相談件数	件	実績	-	-	445		国費				10,690	10,788								
				達成率	-	-			その他													
指標種類2	指標名称2			単位	計画	-	-	6	3	3	決算	事業費計	0	0	10,539					見直し 方向性	方向1 方向2 方向3	このまま継続
活動	+	70-	出張相談実施回数	回	実績	-	-	41		国費				10,539								
					達成率	-	-	683.33%		その他												
指標種類3	指標名称3			単位	計画	-	-	-	-	人役			0.4									
					実績	-	-	-	-	人件費			2,420									
					達成率	-	-	-	-	事業の概要												
実施 期間	始期	終期	事業の概要							コロナ禍で影響を受ける女性を支援するため、NPO等民間団体の知見やネットワークを活用し、メール等相談・出張相談による相談体制の拡充や相談・支援人材の養成を図るとともに、公的相談機関等との連携を強化するなど、官民一体となった支援体制を構築する。												

4-2 事務事業管理シート（評価対象外事業）

予算施策名

kk06

男女共同参画社会づくり

1 男女共同参画センター衛生環境整備費	コスト (単位：千円)				R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	コスト (単位：千円)		
	事業費計	国費	その他	県費					事業費計	国費	その他
評価対象外の理由	0	20,749	44,162	0	0	16,159	43,181				
その他		20,749	44,162			16,159	43,181				
評価対象外その他の理由(記述)											
施設整備(一部繰越)のみのため						0.4	0.4				
						2,707	2,420				